

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市増尾地域ふるさと協議会
日 時	令和元年10月5日（土）10時00分～11時40分
場 所	増尾近隣センター 会議室A
参加者	ふるさと協議会役員等 : 7名 地域づくり推進部長 : 1名 増尾近隣センター所長 : 1名 地域支援課職員 : 5名 地域づくりコーディネーター : 1名 合計 : 15名
次 第	別紙のとおり
意見交換	<p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(事前に用意してくれた資料を基に御説明) 役員については各町会・自治会から推薦された方で構成されている。基本的にはふるさと協議会として担い手不足ということは感じていない。 ・各町会・自治会に目を向けてみると高齢化が進んでおり1年交代の役員が多く、若い人は忙しい(70歳まで働くという風潮もあり)。我々リタイアした世代と若い方が携わるとするのが難しくなっている。活動に参加できないと言っている。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと協議会全体に関わっている方が大体100人くらいいて、毎年30人ほど役員が替わる。各町会の参加人数が伸び悩んでいる。だいたい5%ほどが参加している印象。ふるさと協議会のメンバーが頑張っている割には人が集まっておらず、知られていない印象。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月のふれあいの集いは会場が近隣センターの駐車場なので、毎年駐車場の確保が困難。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の近隣センターの混み具合はどうか。

<p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 混み具合はあまり変わらないが、車で来る方が多い印象。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部屋の混み具合はどうか。 <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この地域懇談会の会場でもある会議室Aなど、人気がある会議室はいつも埋まっている印象。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車で来たい方（高齢者等）もたくさんいると思う。臨時で止められるところができるとうい。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近くにグラウンドもない。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバスなどがあればよい。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣センターについて、増尾も建て替えようという案はあるのか。 <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建て替えではなく、改修になる。市の方針として施設の床面積を増やすことはできないが、間取りの入れ替え等で使い勝手を良くするという事は考えられる。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増尾ふるさと協議会の活動は最先端だと自負している。課題はふるさと協議会の基盤となる町会自治会の参加者が減っていること、町会・自治会が活発に活動していくことが大切で、町会・自治会が活動しやすいようなサポートが必要。 ・ ふるさと協議会は町会の仲間の集まりである。例えば老人会は規約をみると同じ町会でなくても誰でも参加できることになっている。そういった居場所が必要になってくるので、市としてコミュ
--

ニティ施設を増やしてほしい。そのためにも空き家の活用などきまりを厳しくしないでほしい。

- ・各ボランティア団体の活動者の高齢化が進んで活動ができなくなってきている。例えばホテルの会や増尾の里山を守る会があるが、こういった地域懇談会を1時間やったくらいではわからない。

柏市職員

- ・課題については仰る通りだと思う。市の課題としては、縦割りになってしまっていること、他部署で意識が低いところがあること。すぐに変わるわけではないが、これから組織改革からはじめていきたいと思う。大変貴重なご意見ありがとうございます。

ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会の役割としては町会・自治会のサポートをすることだと思っており、イベントをやって何名集まったというのが目的ではない。地域内の各々の活動をより良くしていくことが必要なので、町会・自治会に還元できるような活動ができればと思う。

柏市職員

- ・他地域でもふるさと協議会の在り方について話題として挙がっている。町会・自治会をサポートしていくのがふるさと協議会の役割という話が出た地域もあった。市としてどういった関係性を作っていくって、どういった次の一手を打つかが大切。

ふるさと協議会役員

- ・地区社協の地区懇談会でも同じようなテーマでやろうとしている。町会長が1年交代ということもあり、やり過ぎせばいいと思っている実態がある。ふるさと協議会独自のイベントを増やすのではなく町会へ寄り添って積極的に手伝いをすることが必要だという話にもなった。これから若い方に運営を譲っていくためにどうやっていけばよいかを考えている。協力してくれる方が家庭環境など他の問題で、良い雰囲気や気持ちよい雰囲気で活動できないことが問題。柏南高等学校で実施した防災の避難所運営訓練はよかったと思う。高校生などの若い方を巻き込み、地域の方の気持ちを巻きこんで後継ぎなどの先のことも考えていかないといけない。

ふるさと協議会役員

- ・今の時代、地域コミュニティでは周りに関わりたくない方が増えてきている。ただ災害が起きた際には地域の力が絶対に必要だろう。今の時代は「防災」が武器になると考えている。基本的には防災活動は遊びのイベントではないので面白くないので、若い方は基本的に興味を示さない。高校生におじさんが声をかけたって集まらない。早稲田大学の学生などの若い方が他の若い方に向けて働きかけたということが良かったと思う。
- ・他にも被災地向けのボランティア講座を行った。参加者は17名ほどと少なかったが、その中の半数ほどは「自分たちの地域の防災訓練には参加したことない。」という方たちであった。視点を変えると人材発掘もできるのではと感じ、今までの訓練では限界があることが考えられるので、避難所ボランティアとして若い方の受け皿として集まれるようなことの必要性を感じている。

ふるさと協議会役員

- ・今までふるさと協議会の活動しかしてなかったが、昨年からは副会長として町会の役員になった。町会の方はふるさと協議会のことも青少協のことも知らない方が多く、隣の町会についてもお祭りをやっていることくらいしか知らないので町会がふるさと協議会の活用方法を知らない。避難所運営訓練を経て、やっと隣の町会とは少しは関われるようになってきたが、よりふるさと協議会と町会との関係を密にしていく必要がある。隣の町会同士との関係も町会とふるさと協議会の関係も、これからより注目されていくと思っている。

柏市職員

- ・2年前の地域懇談会では、「町会をサポートする」という話題はでなかった。約300ある町会のうち3分の1は毎年新しい会長に入れ替わる。ふるさと協議会の中で新任町会長をサポートできるとよいという話が他地域でも話題として出ていた。

ふるさと協議会役員

- ・他のふるさと協議会は町会長が役員になっているのか

	<p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと協議会によって様々である。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い方に仕事を繋いでいくことが必要。老人会は活発になってきているので、下の方に仕事を引き継げるような形ができれば、ふるさと協議会として町会・自治会にも目を向けていく必要がある。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若い方が仕事が忙しい」と言うが、我々のイメージで「忙しいから参加できない」と決めつけるのはよくない。本当は手伝いたいと思っている方もいるかもしれない。 <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏の葉地域でふるさと協議会を立ち上げるための検討会議をやっており、若い方が多く参加しているが、月に1回の会議は皆さん参加してきている。町会がダメになった時のためにふるさと協議会を作っておこうという気持ちがある。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のふるさと協議会の町会・自治会からの負担金はいくらか。増尾は1世帯あたり100円。 <p>柏市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤心ふるさと協議会は1世帯あたり200円でやっている。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度新たに、サンパセオ新柏管理組合が増尾ふるさと協議会に加入することとなった。
<p>いただいたご意見のまとめ</p>	<p>主に次のような御意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと協議会として担い手不足は感じていないが、個々の町会・自治会としては高齢化が進んで厳しいというところもあるというご意見をいただいた。 ・ふるさと協議会はどんな活動をするのが求められるのか、ということに対して、町会・自治会をきちんとふるさと協議会が支援をし

	<p>ていくことがこれからの役割ではないかというお話を伺った。</p> <ul style="list-style-type: none">• 取組みのひとつとして防災がこれからの新しい核になっていくのではないか、単純に自主防ということではなく、防災を視点としたコミュニティづくりや防災の取組みそのものが、若い方を取り込んでいったり、今後のコミュニティの核になる可能性があるというご意見をいただいた。• 個々の話の中では、活動の駐車場がなくて困っているというご意見をいただいた。• 若い方の参加が難しいという意見もあるが、参加の方向や視点を変えたりしていけば十分に若い方にも参加していただける可能性があるとのお話を伺った。• 活動の居場所づくり、空き家の対策も積極的に進めてほしいとのご意見をいただいた。
--	---